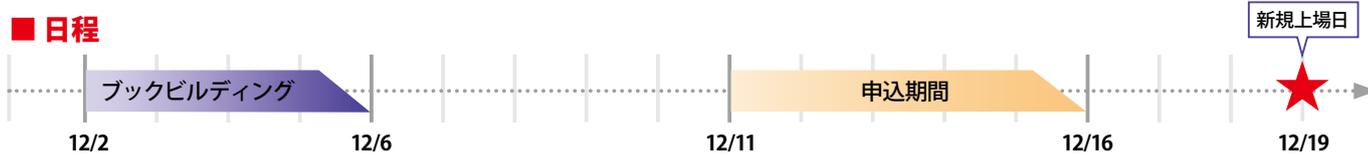


IPO銘柄 **ダイキアクシス (4245・東証2部)**

| コード | 投資単位 | 公開株式数 | 仮条件 (上限 PER) | 主幹事証券 |
|------|------|-------------------------------------|-------------------------|-------------------|
| 4245 | 100株 | 公募: 50.0万株 売出: 20.0万株 (OA10.5万株) | 1,200円~1,300円 (8.3倍) | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 |



環境機器関連や住宅機器関連の事業を展開

■ 事業内容

ダイキ（現DCMホールディングス傘下）の環境機器関連事業、住宅機器関連事業、BDF（バイオディーゼル燃料）関連事業を分割継承する子会社として設立され、MBOを経て独立した。環境機器関連事業では、生活排水処理、産業排水処理、地域集落排水処理の各用途に分類される製品の取扱い、環境に応じた最適な排水処理設備の提供を行っているほか、24時間対応のメンテナンス体制を整備。住宅機器関連事業では、一般住宅やマンション向けシステムキッチン、トイレ、ユニットバスをゼネコン、地場建築業者、ハウスメーカー向けに販売している。13年12月期第3四半期累計（1～9月）の売上高構成比は環境機器関連事業が48.5%、住宅機器関連事業が49.3%、その他事業が2.3%となっている。

■ 特徴

その他事業として、軽油の代替燃料になる廃食用油を原料としたBDF「商品名D・Oil」の製造・販売も手掛ける。さらに、幅広い環境事業として、ボトルウォーター「クリクラ」、除菌・消臭剤「アクアダッシュ」、バイオマスエネルギーを有効活用する熱分解連続炭化装置などの事業も展開中。12年には小型風力発電事業にも参入するなど、「環境改善」と「水」を中心コンセプトとした新規事業への参入や育成に積極的。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年12月期の連結経常利益は前期比11.3%増の6億2,800万円を計画する。浄化槽など環境機器関連が主力で、事業には先端的なイメージは乏しいものの、堅実な収益動向が見込まれる。建設業界の回復感から足元の業績も堅調に推移しそうだ。

■ 定性分析

主力事業のビジネスモデルに新しさはないものの、新事業として手掛けるBDF「D・Oil」や熱分解連続炭化装置、小型風力発電事業などは株式市場のテーマとなりうるビジネス。新事業に積極的な部分は注目される可能性がある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は10.5億円。株主にはベンチャーキャピタルが多いものの、ロックアップの対象となっていない株式は一部で、需給面への不安は大きくない。ただ、19日は4案件が同日上場するため、資金分散は懸念材料。
(小泉健太)

■ 類似企業

| | |
|--------------------|----------------------|
| ダイキアクシス (4245・②) | 予想PER8.3倍 (仮条件上限) |
| 水道機工 (6403・JASDAQ) | 予想PER13.3倍 |
| 荏原実業 (6328・東証1部) | 予想PER12.9倍 |

■ 引受証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券、大和証券、SMBC日興証券、みずほ証券、東洋証券、いちよし証券、マネックス証券、岩井コスモ証券、香川証券、藍澤証券、極東証券

業績・財務指標

| | 売上高 (百万円) | 前年比 (%) | 経常利益 (百万円) | 前年比 (%) | 純利益 (百万円) | 前年比 (%) | EPS (円) | 1株あたり 年間配当金(円) |
|---------------|--------------|------------|---------------|------------|--------------|------------|------------|-------------------|
| 11年12月期(実績) | 24,929 | — | 484 | — | 248 | — | 99.4 | — |
| 12年12月期(実績) | 27,202 | 9.1 | 564 | 16.5 | 216 | ▲12.9 | 86.8 | 15.0 |
| 13年12月期(会社予想) | 28,800 | 5.9 | 628 | 11.3 | 395 | 82.5 | 157.3 | 33.0 |

※ 13年10月に株式分割(1株→100株)を実施。11年12月期および12年12月期のEPSは遡及修正

| | 発行済み 株式総数(株) | 総資産 (百万円) | 純資産 (百万円) | 資本金 (百万円) | BPS (円) | 自己資本比率 (%) | 自己資本当期 純利益率(%) |
|---------|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------|---------------|-------------------|
| 12年12月期 | 24,972 | 14,949 | 3,561 | 1,621 | 1,424.5 | 23.8 | 7.2 |
| 13年12月期 | 24,972 | 16,085 | 3,823 | 1,621 | 1,529.2 | 23.7 | 5.9 |

※ 11年12月期および12年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

| | 氏名または名称 | 所有株式数(株) | 所有割合(%) |
|----|----------------------------|-----------|---------|
| 1 | 大亀 裕 | 1,179,200 | 47.22 |
| 2 | ジャフコV1-B号投資事業有限責任組合 | 180,000 | 7.21 |
| 3 | 伊予銀行 | 120,000 | 4.81 |
| 3 | 愛媛銀行 | 120,000 | 4.81 |
| 5 | ダイキアクシス従業員持株会 | 115,000 | 4.61 |
| 6 | ジャフコV1-スター投資事業有限責任組合 | 106,000 | 4.24 |
| 7 | 投資事業組合オリックス10号 | 80,000 | 3.20 |
| 7 | 日本政策投資銀行 | 80,000 | 3.20 |
| 9 | ジャフコV1-A号投資事業有限責任組合 | 74,000 | 2.96 |
| 10 | MUFGベンチャーキャピタル1号投資事業有限責任組合 | 72,000 | 2.88 |

経営陣

| 役職 | 氏名 |
|------------------|-------|
| 代表取締役社長 | 大亀 裕 |
| 代表取締役専務 | 大亀 清一 |
| 常務取締役 経営管理本部長 | 堀淵 昭洋 |
| 取締役 大阪支社長 | 馬場 一弘 |
| 取締役 本社営業本部長 | 真田 豊 |
| 取締役 東京支社長 | 中山 繁樹 |
| 取締役 技術部長 | 高橋 廣信 |
| 取締役 生産部長 | 小山 泰史 |
| 取締役 上水事業部長 | 中村 和雄 |
| 取締役 東京支社東京施設管理部長 | 高岡 慎也 |
| 取締役 | 吉田 信茂 |
| 常勤監査役 | 宮崎 順 |
| 監査役 | 中矢 陽三 |
| 監査役 | 和氣 肇 |

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。